

京都大学原子炉実験所 専門研究会
「福島原発事故で放出された放射性物質の多面的分析」プログラム

日時：2017年12月4日(月) 9:30 - 17:00

場所：京都大学原子炉実験所 事務棟大会議室

9:30-9:40 開会挨拶 京大炉・大槻 勤

・セッション1「放出過程・分析技術・模擬実験」(1) [座長：金沢大・横山, 阪大・吉村]

9:40-10:05 「1号機由来の放射性粒子の特徴」筑波大・末木啓介

10:05-10:25 「X線CTを用いた粒子内部構造の分析」JAEA・佐藤志彦

10:25-10:50 「様々な環境試料中の放射性セシウム包有粒子について」東大・栗原雄一

10:50-11:15 「放射光を用いた放射性セシウム濃集粒子の分析」東大・高橋嘉夫

11:15-11:40 「富岡町で採取したコア試料の分析」阪大・二宮和彦

11:40-12:05 「模擬放射性エアロゾル生成実験の現況」京大炉・西澤佑介

12:05-12:30 「河川懸濁粒子中のセシウム含有微粒子がセシウムの固液分配に与える影響」

東大・三浦 輝

12:30-13:30 昼休憩

・特別講演 [座長：京大炉・大槻]

13:30-14:00 「福島県内の環境回復と除染土壌等の処理の現状」福島大学・河津賢澄

・セッション2「不溶性微粒子の探索」 [座長：筑波大・末木]

14:20-14:40 「大阪大における不溶性微粒子の探索」阪大・五十嵐淳哉

14:40-15:00 「京大炉における不溶性粒子探索の取り組み」京大炉・高宮幸一

15:00-15:20 「東北大における不溶性微粒子の探索」東北大・小荒井一真

15:20-15:40 「国環研における不溶性微粒子の探索」国環研・竹内幸生

15:40-16:00 「IPを用いた放射性微粒子の放射能の定量について」広大・遠藤暁

16:00-16:20 「IPによるセシウム含有粒子の測定」慈恵医科大・箕輪はるか

・全体討論 (阪大・篠原 厚)

16:20-16:55 「不溶性微粒子の探索：分析手法の確立と今後の展開」

16:55-17:00 閉会挨拶 阪大・篠原 厚